

10・3京都大集会へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2016年9月5日
No.402

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連大会での作部羊平新書記長の就任あいさつ!

新書記長に就任させていただきます。よろしくお願いします。大会の最後に決意を述べます。

書記長就任の話を最初に聞いた時、僕はどうしようかと悩みました。しかし、2日間の大会での討論をやり抜いて、現場で本当に団結をつくることかけられる、京大一全国でそういう団結をつくることできると感じました。だからこそ、本気で闘う立場で、それを全国大学と全世界に拡大していく闘いの先頭に立つ決意で、書記長をやると決断しました。

斎藤委員長一坂野書記長体制は2011年9月からです。2011年は「3・11福島原発事故」が起きて、大学の腐敗に対して学生自治会を再建し始めた。それが、昨年の第一波京大反戦バリストに結実した。私たちの運動に不足している部分は無数にあります。しかし、それらを全部のりこえて、もっと大きく、もっと激しく、もっと大衆的に、全国の大学でストライキで闘う、絶対反対で闘う学生の団結体をつくり上げ、ゼネストと国際連帯で僕



らの代で革命をやる決意で闘っていきます。

僕が書記長としてどこに責任を取っていくか。書記長は全学連運動の闘う路線をつくり上げていく存在だと思います。京大同学会運動を5年間やってきて、その地平から、大学の中で起きているあらゆる運動を「階級闘争」として一つの闘いに束ね上げ、この社会に対して全力で闘い抜く団結をつくる。それを全世界の闘いと一体で前進させることに責任を取っていききたい。

今回、僕は「無期停学」処分を受けています。「処分者は救済する対象だ」という考え方もありますが、処分者こそがすべての学生の怒りを体

現し、運動の路線をつくり上げて闘い抜くべきです。僕はそういう全学連運動が大好きです。4人への処分を粉碎する闘いに全力で突入します。まだまだ未熟で、つたない書記長ではありますが、多くの仲間たちに支えられながら、これから自己変革をかちとっていきます。飛躍をかけて闘っていきます。よろしくお願いします!



4学生への無期停学処分撤回!

10・3京都大集会

10月3日(月)11時50分 京大本部クスノキ前集合
12時 集会開始
12時45分 第2回署名提出行動
【主催】 京都大学全学自治会同学会中央執行委員会



全学連大会での洞口朋子さん(法政大)のアピール!

公安警察の大会への襲撃に、徹底的に怒りを燃やしていこう! 私たちに襲いかかるあの公安警察の醜悪な姿こそ、安倍政権がどれだけ追い詰められているのかを示しています。「戦争か革命か」の時代に全学連大会が開催されていることに敵は恐怖しています。第2波京大ストに安倍と国家権力はビビっています。「倒すか倒されるか」の闘いがここにあります。

10・3京大集会までの残り1か月間、そして韓日11月国際共同行動までの残り2か月間は、情勢を一変させる歴史の分岐点です。とりわけ10・3集会の爆発に向かって、京大生と団結を固めて闘いたい。学生運動の爆発のチャンスを迎えています。シールズは解散しましたが、青年・学生の怒りは収まるどころか爆発しています。安倍と国家権力は、青年・学生の怒りと全学連運動ー11月労働者集会が結びつくことを恐れています。私たちの飛躍と決断が問われています。

一つは、京大処分撤回闘争に徹底的にかけきろう。大会で、4人の被処分者との団結を豊かに作り出したい。「なぜストライキに決起したのか」「処分を受けても絶対に屈しない」——4人の被処分者の存在の中に、300万学生の決起をつくる核心があります。法大闘争もそうだったように、処分者の存在と怒りが最も獲得力と求心力を持ちます。

この処分こそ、安倍の改憲・戦争攻撃との最先端の攻防です。だからこそ、京大当局も国家権力も「4学生処分と改憲



・戦争」を絶対に切り離す。「やり方が悪かった」とか「大学の秩序を乱した」という問題にねじ曲げる。しかし、学生は改憲・戦争阻止のストライキに必ず決起するという確信を、私たちが持つことが重要だと思います。

二つに、「絶対反対」を貫く法大闘争の精神が今こそ求められています。法大闘争が10年間、なぜ団結を守り抜いてこれたのか。処分や弾圧という敵の攻撃に対して「絶対反対」を貫いたからです。「処分には反対だけどストのやり方が悪かった」とか「弾圧には反対だけど完全黙秘はするべきではない」というあら

ゆる分断を持ち込む連中は、結局は全部裏切っていった。「処分者の闘いは正義だ!」「一切の責任は当局・資本にある!」という立場に立たなかったら団結は守り抜けません。絶対反対を貫く中でこそ、学生の根底的怒りと結びつけます。

三つに、『前進』の圧倒的な活用です。『前進』を学生に手渡していくことそのものが、「一個の闘い」です。キャンパスや職場で労働者階級の視点や闘いが抹殺されている中で、『前進』の見出しを学生が目にするだけでも重要なことです。広範に階級意識をつくり出す扇動をやるという立場で、『前進』を提起して討論をつくっていこう。

四つに、今大会で新たな女子学生の決起が数多くかちとられていることが決定的です。「女性の獲得」こそ、全学連運動の最大の課題です。ともに闘いましょう!

【当面する行動方針】

●9・16法政大開講日デモ～京大闘争連帯～

9月16日(金) 12時半 法大市ヶ谷キャンパス集合 13時 デモ出発(13時半終了予定)

●“市東さんの農地死守!” 10・9三里塚全国集会

10月9日(日) 正午～ 三里塚現地・反対同盟員所有地にて

【主催】三里塚芝山連合空港反対同盟



国境をこえた団結で朝鮮侵略戦争と労働法制改悪阻止へ!

11・6全国労働者総決起集会

11月6日(日) 正午 東京・日比谷野外音楽堂

民主労総11・12労働者大会

11月12日(土) ソウル



<呼びかけ> 全国民主労働組合総連盟ソウル地域本部(民主労総ソウル地本)／国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉)／全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部)／全国金属機械労働組合港合同(港合同)